

愛知県養鶏協会便り4号



皆様、こんにちは！！

一般社団法人愛知県養鶏協会が
設立されました！

昨年から1年有余かかりましたが4月2日に登記できました
生まれ変わった協会を紹介します

《 協会の基本理念 》

手をつなごう！愛知のにわとり・うずら

新鮮・安全・安心・増やそう地産・地消！！

1. 県内の養鶏だけでなく、全ての家きん農家が加入できます
2. 改正された防疫指針を遵守し、一致団結して家きん産業を守る応援をします
3. 「愛知県産認証マーク制度」を確立し、県内産の消費拡大を推進します
4. 県内各地域で開催される「畜産物フェア」に協賛して地産・地消を呼び掛けます
5. 「鳥インフルエンザ見舞金制度」事業がスタートしました

会員の皆様家畜伝染病予防法に沿った 「衛生管理区域」は設置されましたか！

昨年10月1日付で改正されました家畜伝染病予防法では生活区域と家畜飼養区域を区分けして衛生管理をしっかりとるようになりました。

養鶏協会では「衛生簡易区域」設置に協力する為、会員の皆様に侵入禁止を表示する看板をお届けしましたが活用されて居られますか！

豊橋市では市内全ての家きん農家に対し「毎月27日は一斉消毒の日」
「毎年、11月を清掃強化月間」に指定して防疫を呼びかけています。

衛生管理区域を
設定済のA農場



「鳥インフルエンザ見舞金制度」事業 への加入申込み受付中です！

「高病原性鳥インフルエンザ」の危険シーズン（11月～翌3月）で、昨年度に於いては全国9県、24農場で確認され、183万羽が殺処分されました。今でも台湾では南部地区から北部の台北近郊で発生しておりますし、隣国中国でも西部地域から次第に東部海岸地域まで広がり4月末には遼寧省・大連市でH5 N1型の発生が報道されております。

鳥インフルエンザの危険シーズン（11月～ 3月）前に見舞金制度に加入しておきましょう

会員の半数以上の方が既に申し込まれ、危険シーズンに備えています
契約の期限は9月末日になって居りますので、今からでも間に合います

この事業に賛同いただいた賛助会員様からは
500,000羽分に相当するご支援をいた
だいて居ります。本当に有難うございます。

愛知県産の新鮮で安全なタマゴや鶏肉は 県民の皆様に安心して食べて貰いましょう



(愛知県産のタマゴセットをプレゼントする副知事)

小川悦雄愛知県副知事や小林
功県議会議員、川上万一郎議員
鈴木孝昌議員方の応援を得て
地産・地消のPRイベント開催！！



(あいたま君もイベントでPRに大活躍)



(養鶏協会基本理念ののぼり旗)

(平成24年6月4日・金山総合駅にてPRイベント実施風景)

平成24年度に協会が掲げる事業のもう一つは**地産・地消の拡大！**

1. 愛知県で生産されたことを証明する「**認証マーク**」を製作企画中です
2. 皆さんからの**アイディア**も募集しています。積極的に参加して下さい